

自動車事故被害者に対するニーズ調査

R3年 今後の自動車事故被害者救済対策のあり方に関する検討会において



- 自動車事故被害者が安心して利用できる**環境整備**
- リハビリテーションの**充実**への期待
- 時代によって変化する利用者ニーズを捉えた**機能強化**

利用者が安全安心に治療を受けられる環境を整えるとともに、リハビリの充実など、変化する利用者ニーズ、社会的要請を的確に捉えた療護センターの機能強化に取り組むため、第一に、療護センターが自動車事故被害者から「何を」求められているのかを把握する必要がある。

自動車事故被害者に対するニーズの把握方法として「アンケート」の実施

	アンケート 送付先	調査方法	主な調査項目
①	療護センター 長期入院患者(入院中)	書面アンケート	「既存機能の強化」 として望むこと
②	療護センター 短期入院患者(入院中)	書面アンケート	「短期入院時のリハビリの充実」 として望むこと
③	療護センター 入院経験者(長期、短期)かつ 現在、在宅介護者または施設入所者等	WEBアンケート	療護センター退院して在宅復帰した後、 「療護センターを再び利用する機能」 として望むこと
④	センターを一度も利用したことがない 在宅介護者若しくは施設入所者等	WEBアンケート	「療護センター利用にあたって求める機能」 として望むこと
⑤	自動車事故を起因とする脳損傷被害 者	WEBアンケート	「療護センターに求める治療・看護、リハビリ等」 として望むこと
<p>※①～④の対象者と重複しないよう、ナスバからアンケート協力依頼があった場合は、ナスバを優先するよう依頼</p>			